

【科目名】 チーム医療学 I		【担当教員】 小野 敏子
【授業区分】 専門基礎分野 (リハビリ関連科目)	【授業コード】 2-14-0425-0-2	(メールアドレス) t.ono@nur05.onmicrosoft.com
【開講時期】 1・2 年次後期	【選択必修】 選択	(オフィスアワー)
【単位数】 1 単位	【コマ数】 8 コマ	
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) 特になし (受講のルールに関わる情報・予備知識) 特になし		
【講義概要】 (目的) リハビリテーション医療は多くの専門職がかかわるチーム医療であり、中核的技術である理学療法、作業療法、言語聴覚療法の連携の重要性はもちろんのこと、その他の多くの医療専門職との連携が不可欠である。さらに、医療専門職だけでなく、保健・医療・福祉領域の関門職種との連携が重要となる。この科目では、多くの関連専門職とその役割を知り、専門職間の連携の重要性について理解することを目的とする。 (方法) 実際の現場でリハビリテーション専門職がどのように働き、どのように連携を取るのか、できるだけ具体的な事例を挙げながら講義する。また、学生同士の討論、発表を重視する。		
【一般教育目標(GIO)】 リハビリテーションサービスを効果的に進めていくために不可欠な、多くの専門職との連携の重要性を理解し、チームの一員としての自分の近未来の役割を理解する。		
【行動目標(SBO)】 <ul style="list-style-type: none"> ・リハビリテーション医療や関連する領域に携わる専門職を、専攻職種以外に 10 種類以上挙げ、班ごとで協力してその役割の概要を調べ、討論することができる。 ・最も隣接して機能する専門職である作業療法士、言語聴覚士あるいは理学療法士の役割と機能について、班ごとで協力してその役割の概要を調べ、討論したことを分かり易く述べることができる。 ・多くの職種による連携の必要性を、自分の言葉で述べるができる。 ・急性期、回復期における医療チームの役割と連携の概要を述べるができる。 ・高齢者に対する医療チームの役割と連携の概要を述べることができる。 ・終末期、あるいは回復の望めない対象者への医療チームの役割と連携について、自分の考えを述べるができる。 ・サービスの継続の重要性を述べるができる。 ・多職種間連携をうまく進めるための条件・ポイントを、5 つ以上述べることができる。 		
【教科書・リザーブドブック】 特になし。必要に応じて資料を配付する。		

平成 26～28 年度入学者用

【参考書】									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 福原麻希：がん闘病とコメディカルー医療最前線からの提言。講談社，2007。 図書館にも数冊所蔵。 ・ その他、必要に応じて紹介、または関連資料を配付する。 									
【評価に関わる情報】									
(評価の基準・方法)									
<ul style="list-style-type: none"> ・ 成績評価基準は本学学則規定のGPA制度に従う。 									
【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合		50		30				20	100 点
評価指標	取り込む力・知識								
	思考・推論・創造の力								
	コラボレーションとリーダーシップ								
	発表力								
	学修に取り組む姿勢								
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営方法			学修課題(予習・復習)		時間(分)		
1	提示症例への最大限の援助を考える (1) —どんな専門職がどうかかわればいいのか?—	班ごとの討論、文献検索							
2	提示症例への最大限の援助を考える (2) —最大援助のために、私はこう考える—	討論、発表							
3	リハサービスを効果的に進めるための関連専門職の役割と機能 —近未来の自分の職業とのつながりを考える—	討論、文献検索、発表							
4	隣接領域の役割と機能、連携を考える	討論、文献検索、発表							
5	急性期、回復期におけるチーム医療の実際例	ビデオ供覧、討論							
6	高齢者施設におけるチーム医療の実際例	ビデオ供覧、討論							
7	終末期や回復が望めない対象者に対する専門職の役割と連携、家族への援助を考える。	ビデオ供覧、討論							
8	リハサービスの流れ、サービスの継続 (病—	講義							

平成 26～28 年度入学者用

	病、病一診、地域連携など)、災害時の連携、 良い連携実現の条件・ポイント、専門職間連 携教育の現状と課題			
--	------------------------------------------------------------	--	--	--

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の 3 倍)に含むべき時間を示します。